

令和2年度（2020年度）第1回公立大学法人熊本県立大学経営会議
議 事 録

- 1 日 時：令和2年（2020年）6月24日（水）午後2時～午後3時10分
場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室
出 席：理事長 白石 隆
副理事長（学長）半藤 英明
理事（副学長）堤 裕昭 *オブザーバー
理事（事務局長）齊藤 浩幸
理事 本松 賢
委員 櫻井 一郎
委員 横田 桂子
委員 古荘 文子
委員 江頭 実 ※
監事 河喜多 保典
監事 本田 悟士

※印は、公立大学法人熊本県立大学経営会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者。

事務局：手島次長、三隅教務入試課長、西嶋学生支援課長、松永企画調整室長、丸山総務課長、脇地域連携政策センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、宮本国際教育交流センター事務長、松本監査室長心得、高山総務課総務班長、井総務課財務班長、平井総務課財務班参事、吉田総務課総務班参事、松本企画調整室参事

2 開会（進行：手島次長）

3 理事長あいさつ

4 議題（議長：白石理事長）

(1) 審議事項

①平成31年度（2019年度）業務実績の自己点検・評価等について

事務局から、資料1に基づき、平成31年度（2019年度）業務実績に係る自己点検・評価について、全50項目中、S～Cの4段階評価でS評価が1項目、A評価が48項目、B評価が1項目であり、順調に実施できたと総括していることを説明した。

また、6月末までに県に提出する「平成31年度（2019年度）事業報告書」と県の法人評価委員会に提出する「業務実績報告書」は、この自己点検・評価結果を基に作成するとの説明もあった。

審議の結果、案のとおり承認された。

②認証評価結果（平成28年度受審）に対する「改善報告書」の提出について

事務局から、資料2に基づき、平成28年度に受審した大学基準協会の大学評価において、課題とされた事項の「改善報告書」を令和2年（2020年）7月末日までに提出する必要がある、改善勧告とされた環境共生学部居住環境学

科の専任教員の不足、努力課題とされたアドミニストレーションのカリキュラムとキャップ制の導入について、それぞれの改善状況を記した「改善報告書」の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

③教員採用に係る枠取りについて

半藤学長から、資料3に基づき、次の2件について、いずれも令和3年(2021年)4月1日採用予定として枠取りを行いたいとの説明があった。

ア)文学部日本語日本文学科 日本芸能文化論 准教授

イ)環境共生学部環境共生学科食健康環境学専攻 公衆栄養学 准教授

審議の結果、案のとおり承認した。

④令和元年度(2019年度)決算について

事務局から、資料4に基づき、令和元年度(2019年度)決算について、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、利益の処分に関する書類(案)、決算報告書により説明があった。

当期総利益は約1億1千500万円で、前年度の総利益より8千600万円の減となったものの平成29年度と同程度を計上することができた。この利益については、法に基づき、教育研究等環境整備目的積立金への積み増しの承認を県に求めるとの説明があった。

続いて、河喜多監事から独立監査人の監査報告書及び監査報告の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

⑤熊本県立大学未来基金の新型コロナウイルス感染防止対策に係る寄附金の受入れについて

事務局より資料6に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大による学生の支援として、熊本県立大学未来基金の特定目的寄付金に「新型コロナウイルス対策枠」を新たに設置し寄附を受け入れ、学習環境の充実に支出することが説明された。

審議の結果、案のとおり承認された。

⑥令和2年度(2020年度)補正予算について

事務局から、資料6に基づき、令和2年度(2020年度)補正予算(案)について説明があった。収入予算補正の主な理由は、遠隔授業の実施に伴う資機材の調達及び授業の安全な実施のための設備改修等を行うことに伴う目的積立金取崩の増と未来基金収入として「新型コロナウイルス対策枠」を設けそれに係る収入の増であり、支出予算補正の主な理由は、遠隔授業の実施に伴う資機材の調達及び設備改修費用等の増と、情報処理実習室等の機器更新の延期(再リース)及びイベントの中止に伴う経費として減額した分の授業料等自己収入財源を活用し、遠隔授業配信スタジオ設置や動画撮影・編集業務委託等を行うことによる増であることが説明された。

審議の結果、案のとおり承認された。

⑦客員教授の選考について

事務局から、資料 7 に基づき、客員教授に 1 名の任命を行う予定であり、その候補者名及び選考理由などの説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

⑧学長選考会議委員の選出について

事務局から、資料 8 に基づき、学長選考会議委員について、任期が令和 2 年 3 月末で満了したため、経営会議から 3 名を選出する必要がある旨説明があった。

審議の結果、白石委員、本松委員、古荘委員の 3 名が選出された。

(2) 報告事項

①令和 3 年度(2021 年度)入学者選抜の実施方針について

事務局から、資料 9 に基づき、学部入試、大学院入試の方法、募集人員、入試広報の内容、年間スケジュール等について報告があった。

②令和 2 年度入学者の状況について

事務局から、資料 10 に基づき、学部入学者の内訳、大学院入学者の内訳について報告があった。

③平成 31 年度(令和 2 年 3 月卒業者)の就職等決定状況について

事務局から、資料 11 に基づき、就職決定状況や就職率について報告があった。

④熊本県立大学未来基金の平成 31 年度(2019 年度)収支状況について

事務局から、資料 12 に基づき、熊本県立大学未来基金の平成 31 年度(2019 年度)収支状況について、収入状況、支出状況の報告があった。

⑤本学におけるこれまでの新型コロナウイルス感染症対策について

事務局から、資料 13 に基づき、新型コロナウイルス感染症対策本部の設置や「新型コロナウイルス感染症に対する対応方針」及び「新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応指針」の策定を行い、感染症予防や授業再開・遠隔授業、授業料減免や就職活動支援等の学生への支援を行っている旨報告があった。

⑥公立大学法人熊本県立大学と熊本県教育委員会との連携協定締結について

事務局から、資料 14 に基づき、近年地域を取り巻く社会情勢の多様な変化を踏まえグローバルな視点を持つ地域人材の育成を図る必要があるとの共通した認識から、熊本県の教育の一層の充実を図っていくため、本学と熊本県教育委員会において新たな連携協定を締結する旨報告があった。

5 その他

- 次回経営会議は、令和 2 年(2020 年)10 月 21 日(水)午後 2 時開始予定であることを確認した。

6 閉会

以 上